

上場会社名 **東芝機械株式会社**

（コード番号：6104 東証・大証第 1 部）

（URL <http://www.toshiba-machine.co.jp>）

代表者 役職名 取締役社長 氏名 中島礼二

問合せ先責任者 役職名 人事・総務部長 氏名 杉 政夫 TEL (055)926 - 5138

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無： 無

2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 6 月 30 日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満は切り捨て）

	売上高	営業利益	経常利益
	百万円	百万円	百万円
16 年 3 月期第 1 四半期	21,510	479	154
15 年 3 月期第 1 四半期	-	-	-
（参 考）15 年 3 月期	97,296	3,055	938

	当期（四半期）純利益	1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益
	百万円	円 銭	円 銭
16 年 3 月期第 1 四半期	86	0.52	-
15 年 3 月期第 1 四半期	-	-	-
（参 考）15 年 3 月期	1,052	6.29	-

（注）当該四半期より四半期業績の開示を行なっているため、前年同四半期実績および増減率につきましては記載しておりません。また、売上高等の数値は監査法人による監査を受けておりません。

当第 1 四半期のわが国経済は、デフレの長期化や個人消費の低迷などにより、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループは、中国を中心としたアジア市場の拡販、ソリューションビジネスの推進、コストの削減等に努め、当第 1 四半期は、上記のとおり経営成績となりました。

なお、当社グループの売上高は、事業の特性から期末に集中するという季節変動が見られ、第 1 四半期と第 3 四半期の売上高および利益が、他の四半期に比して減少する傾向にあります。

（2）当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は特に発生しておりません。

3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1 株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	53,000	800	500	3.00
通 期	107,000	1,900	1,300	7.79

当社グループを取り巻く厳しい経営環境は、今後も継続するものと予想されますが、第 1 四半期につきましては、おおむね計画に沿った業績で推移しており、今後は、成形機、半導体製造装置、工作機械等の売上増が見込まれますので、上記のとおり、前回（5 月 21 日）公表の中間期および通期の業績予想に修正はありません。

上記の予想は、本資料の作成時点における経済環境や入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。